



ほんものを たべよう

提出日	6/16	6/17	6/18	6/19
配達日	6/23	6/24	6/25	6/26
翌々週分配達日	6/30	7/1	7/2	7/3

2020.6月4週号

Alter Weekly Order Catalogue

オルターの提案

本場に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

寝具 BEDDING

夏に快適な寝具

リネン3重ガーゼケット
三河木綿6重ガーゼケット
三河木綿麻わた敷きパッド

(株)山織

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べ物のネットワーク オルター 代表)



(株)山織の山本 亮社長

オルターカタログ2020年1月2週号でご紹介したキャメル毛布の生産者、(株)山織の夏に快適な寝具「リネン3重ガーゼケット」「三河木綿6重ガーゼケット」「三河木綿麻わた敷きパッド」のご紹介です。

◇リネン3重ガーゼケット

リネン麻のヒンヤリ涼しい感触とシャリ感が、蒸し暑い日本の夏にぴったりです。カビや雑菌の繁殖も起こりにくいので、高温多湿の日本の気候に合っています。亜麻の茎の繊維であるリネンは柔らかく、コットンやシルクに比べて吸水性(綿の約4倍、シルクの約10倍)、通気性、速乾性に優れ、肌触りも良いです。麻は熱伝導性が高く(ウールの約5倍、シルクの約19倍)、ムレにくくサラサラな心地よい使用感です。

優雅な高級感と美しい光沢を兼ね備えています。リネンは疲労を回復させ、気持ちをリラックスさせる作用があるとされています。

汗ばんだ肌にも密着せず、サラリと爽やかな使用感です。一般の2重ガーゼと異なり、3重ガーゼ構造なので寝汗もしっかり吸い取ることができます。べとつかず、適度な保湿性も保たれますので、朝まで快適な使用感が得られ、冷房による寝冷えが心配な方にもおすすめです。



リネン3重ガーゼケット

扇風機との相性は最高です。麻が吸いとった身体の熱を扇風機の風が冷ましてくれます。強度は綿の2倍で、濡れるとさらに増すため、繰り返しの洗濯にもヘタれません。汚れが落ちやすく、乾きやすいので洗濯も簡単です。

洗うたびに柔らかく、しなやかになっていくのもリネンの良さです。使い込むほど肌にしっかりと馴染みます。洗濯に強く、乾きやすい素材です。

多重織ガーゼを得意とする愛知県三河地方のメーカー中瀬織布が織りあげ整理加工工程でリネン独特の風合いを最大限に引き出し、ガーゼケットに仕上げました。安全安心の日本製リネンケットです。

麻は綿に比べて繊維が太く、節も多いため、糸に加工するにも織り上げるにもたいへん手間がかかります。本品は余分な糸加工はせず、効率重視の最新織機で

はなく、古くからある旧式の織機で、繊維の節などがあれば手作業で調整しながら、ゆっくりと織り上げているため、加工を施した糸を全自動で大量生産した生地とは格段に風合いが異なっています。

肌触りにもこだわり、通常寝具では使用しない、アパレル用の最高級の極細糸を使用しています。横糸は単糸(1本撚りの糸)を採用して、生地を軽く、柔らかくしています。縦糸は白く晒した双糸(2本撚りの糸)を使用し、強度を保っています。

白い縦糸を使うことで、横糸の持つ美しい色をそのまま再現しています。

縦糸の本数は1インチあたり90本と多く目の詰まったなめらかなガーゼ生地に仕上がっています。市販品では織機によっては1インチあたり60本というものもあり、ガーゼの目は粗く、耐久性も劣ります。

生地に凹凸がある麻生地は裁断が難しく、延反機を使用して簡単に裁断してしまうと、生地が歪み、何度か洗っていくうちに変形してしまいます。そういったことを避けるため、手作業による裁断を行い、何度洗濯を繰り返しても歪まない、ガーゼケットに仕上がっています。

◇三河木綿6重ガーゼケット

6重の層を一度に織り上げる「同時織り」の手法を採用し、通常は5枚重ねが主流のところ、6枚同時に織り上げているガーゼ生地で、保湿性と通気性を兼ね備えたケットです。表面と中面の糸の太さに変化をつけています。表面のガーゼ生地は下着や洋服に使われるような極細糸で織り、今までにないとりりと肌に寄り添う柔らかな肌触りを実現しています。

ガーゼケットの良さは、ふんわり柔らかな風合いが、洗うほどに増してくるところです。汗を吸い取りやすく、ムレにくいから、汗ばむ夏にぴったりです。

木綿の良さを封じってしまう柔軟剤は一切使っていません。裁断、縫製作業も全て丁寧な手仕事です。

三河木綿の歴史は、今から1200年前、当時はまだ矢作川の河口であった愛知県西尾市天竹町の辺りに



三河木綿6重ガーゼケット

崑崙人(自称天竺人)が流れ着き、村人達に綿の種子の蒔き方や栽培を教えたのが始まりといわれています。江戸時代、三河地方で綿の栽培と織物が盛んになり「三白木綿」という名で江戸方面に送られていました。

6重の層を一度に織り上げる「同時織り」の手法は愛知県蒲郡産地にて改良した独自の高度な技術です。

(株)山織の山本 亮社長は、繊維製品メーカー(株)ガーデンの柴田 守社長に相談、二人三脚で三河木綿6重ガーゼケットの開発を始めました。そして三河木綿の良き伝統を受け継ぎ、「多重織の良さを伝えたい」という強い想いのある中瀬織布合資会社と共に精練・染色・織り・製造のいずれにおいても最高の技術を駆使して、このガーゼケットを作り上げています。

柔らかい風合いに仕上げるため、低温で生地をじっくりと時間をかけて乾燥しています。

◇オルターオリジナル仕様 三河木綿麻わた敷きパッド

優しい肌触りの三河木綿3重ガーゼと汗をすばやく吸収する麻(ラミー)の中わたと、その湿気を発散し、麻(リネン)1重ガーゼ生地を使っています。寝汗をすばやく吸収して、ムレない爽快感です。



三河木綿麻わた敷きパッド

3重ガーゼは汗を吸い取りやすく、ムレにくいので汗ばむ夏にピッタリです。中わたは洗える麻(ラミー)わたを使用しています。麻は綿よりも発散性、放湿性に優れており、夏の寝具に最適な材料です。さらに裏生地に麻(リネン)1重ガーゼ生地を使用していますので、ガーゼと麻わたの発散性を損なわず、通気性抜群です。

伊藤繊維(株)の伊藤 辰雄社長の協力で実現しています。

この敷きパッドは綿3重ガーゼ、麻わた、麻1重ガーゼ生地の3種を同時にキルティング加工しています。ここが一番難しい加工でした。縫製の速度を落とし、慎重に慎重に生地を手で引っ張りながら、ゆがまないよう丁寧に作っています。とても手間のかかる敷きパッドです。そのため、厚手でしっかりしています。日本で一番多くの縫製メーカーが残っている三河産地の技術の高さによって実現したものです。これだけ手の込んだ敷きパッドはまず世の中にはないと思います。

<ガーゼケットの洗濯方法>

水温は30℃を限度とし、洗濯機の場合「弱」で洗濯ネットを使用して単品だけで洗ってください。手洗いがより適しています。フックやファスナーなどの引っ掛りやすいものとは一緒に洗わないでください。

洗濯には石鹸をご使用ください。蛍光増白剤は色むら変色の原因になるのでお避けください。

長くふんわりした風合いを保つためには、できるだけストレスをかけないように取り扱うことが重要です。

このガーゼケットは洗えば洗うほど、ふっくらと柔らかくなる特徴があります。

カラーチラシで山織の夏に快適な寝具をご紹介します。